

金融仲介機能のベンチマーク

平成28年9月金融庁は、金融機関における金融仲介機能の発揮状況を客観的に評価できる指標（共通項目5項目、選択項目50項目）を策定し公表しました。

当組合においては、共通項目5項目、選択項目21項目を選択しており、お客様との対話を増やし、事業性評価の深度を図り、共に問題解決を行い、業績が向上されるよう取組んでまいりました。主要計数については、以下の通りです。

1. 取引先企業の経営改善や成長力の強化

	令和3年度	令和4年度
メイン先	676	606
メイン先の融資残高(億円)	201	203
経営指導等が改善した先数	235	216

2. 取引先企業の抜本的事業再生等による生産性の向上

金融機関が貸付条件の変更を行っている中小企業の経営改善計画の進捗状況

条件変更先総数	81社
好調先	2社
順調先	16社
不調先(計画未策定先含)	63社

※引き続き、支援を継続してまいります。

3. 事業性評価に基づく融資等、担保・保証に過度に依存しない融資

・地元中小企業と信先のうち、無保証のメイン取引先の割合(先数単体ベース)

	令和3年度	令和4年度
地元中小と信先数	1,198	1,185
無保証メイン先数	123	106
割合	10.3%	8.9%

・経営者保証に関するガイドラインの活用先数、及び、全と信先数に占める割合

	令和3年度	令和4年度
ガイドライン活用先数	6	5
割合	0.5%	0.4%

4. 本業支援・企業のライフステージに応じたソリューションの提供

提案先数	52先
割合	4.4%
事業承継支援先数	2社

※引き続き、業績向上に繋がる提案、支援を行ってまいります。